

平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場会社名 株式会社 日本一ソフトウェア
 コード番号 3851 URL <http://www.nippon1.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 新川宗平
 (氏名) 世古哲久

TEL 058-371-7275

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	1,149	150.7	158	—	136	—	△8	—
28年3月期第1四半期	458	△40.3	△71	—	△53	—	△62	—

(注)包括利益 29年3月期第1四半期 △55百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 △52百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△1.74	—
28年3月期第1四半期	△12.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	3,731	2,308	61.1	454.35
28年3月期	3,182	2,372	73.7	469.50

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 2,279百万円 28年3月期 2,347百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,760	19.9	123	43.3	124	77.4	92	—	18.50
通期	3,100	△15.9	179	△57.9	180	△54.2	131	△39.9	26.30

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	5,074,300 株	28年3月期	5,057,100 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期1Q	58,000 株	28年3月期	58,000 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	5,008,816 株	28年3月期1Q	4,973,300 株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料公表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の景気対策による企業収益の向上や雇用情勢の改善などの回復傾向が見られるものの、国際情勢不安や一部新興国の景気下振れ、為替市場の変動などにより、依然先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが所属するゲーム業界におきましては、任天堂株式会社が2017年3月に国内外への販売を予定している新しいコンセプトのゲーム専用機「NX(仮称)」が、注目を集めております。

コンシューマーゲーム業界におきましては、PlayStation VRの国内向けタイトルの発売が多数発表され、往年の人気タイトルもVRコンテンツに対応するなど、PlayStation VR関連の話題がますますの盛り上がりを見せております。

オンラインゲーム業界におきましては、ユーザーの位置情報を利用したコンテンツが開発・配信されるなど、スマートフォンやタブレット端末を利用した遊び方の多様化が見られます。

このような状況の中で、当社グループのパッケージ事業におきましては、全6タイトルを発売いたしました。オンライン事業におきましては、PlayStation Network及びSteamを通じてダウンロードコンテンツの配信を行ってまいりました。ライセンス事業におきましては、他社が配信するオンラインゲームとのコラボレーションを行ってまいりました。その他事業におきましては、ゲームソフトの受託開発及びカードゲームショップ「プリニークラブ」の運営を行ってまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高1,149,342千円(前年同期比150.7%増)、営業利益158,578千円(前年同期は営業損失71,190千円)、経常利益136,615千円(前年同期は経常損失53,500千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失8,702千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失62,861千円)となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

(パッケージ事業)

パッケージ事業におきましては、国内外合わせて全6タイトルの発売を行いました。

国内市場では、『ロゼと黄昏の古城』(PlayStation Vita専用ゲームソフト)、『クラシックダンジョン戦国』(PlayStation Vita専用ゲームソフト)、『ルフランの地下迷宮と魔女ノ旅団』(PlayStation Vita専用ゲームソフト)の3タイトルを発売いたしました。

海外市場では、『Stranger of Sword City』(邦題:『剣の街の異邦人』PlayStation Vita専用ゲームソフト)、『Grand Kingdom』(邦題:『グランキングダム』PlayStation 4及びPlayStation Vita専用ゲームソフト)、『Odin Sphere Leifthrasir』(邦題:『オーディンスフィア レイヴスラシル』PlayStation 3、PlayStation 4及びPlayStation Vita専用ゲームソフト)の3タイトルを発売いたしました。

グッズの製作・販売におきましては、新規グッズの製作や当社ホームページの通信販売サイトにおいて予約キャンペーンを展開し、既存顧客の満足度向上に努めました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高816,159千円、営業利益108,190千円となりました。

(オンライン事業)

オンライン事業におきましては、PlayStation Network及びSteamを通じてパッケージソフトのダウンロード販売及びダウンロードコンテンツ、カスタムテーマの配信を行ってまいりました。また、『真 流り神2』の発売に伴う販売施策PlayStation Portable『流り神』のスーパー値下げキャンペーンを実施し、『流り神』シリーズの知名度向上、新規顧客の獲得に努めました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高281,680千円、営業利益120,371千円となりました。

(ライセンス事業)

ライセンス事業におきましては、INTRAGAMES Co., Ltd.が運営しております『アルケニア戦記』に『魔界戦記デイスガイア』シリーズのキャラクターが登場する等、国内外において、他社コンテンツとのコラボレーションとしてライセンス提供を行ってまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高20,994千円、営業利益3,110千円となりました。

(その他事業)

その他事業におきましては、株式会社ブロッコリーから発売された『神々の悪戯(あそび) InFinite』(PlayStation Portable及びPlayStation Vita専用ゲームソフト)の受託開発を行いました。また、当社のグッズやトレーディングカードを扱うカードゲームショップ「プリニークラブ」の運営を進めてまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高30,507千円、営業利益4,911千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は3,731,721千円となり、前連結会計年度末に比べ549,275千円の増加となりました。

主な流動資産の増減は、現金及び預金の減少(前連結会計年度末に比べ189,006千円の減少)、仕掛品の減少(前連結会計年度末に比べ98,326千円の減少)、受取手形及び売掛金の増加(前連結会計年度末に比べ450,712千円の増加)によるものであります。

主な固定資産の増減は、投資有価証券の増加(前連結会計年度末に比べ330,720千円の増加)によるものであります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債は1,423,379千円となり、前連結会計年度末に比べ613,778千円の増加となりました。

主な流動負債の増減は、買掛金の増加(前連結会計年度末に比べ92,175千円の増加)、短期借入金の増加(前連結会計年度末に比べ160,000千円の増加)によるものであります。

主な固定負債の増減は、長期借入金の増加(前連結会計年度末に比べ402,555千円の増加)によるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は2,308,342千円となり、前連結会計年度末に比べ64,502千円の減少となりました。

主な純資産の増減は、その他有価証券評価差額金の増加(前連結会計年度末に比べ44,932千円の増加)、為替換算調整勘定の減少(前連結会計年度末に比べ92,190千円の減少)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は概ね当初の予想どおりに推移しており、平成28年3月期決算短信(平成28年5月13日付公表)において発表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、海外連結子会社については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響はございません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,096,993	907,987
受取手形及び売掛金	194,397	645,110
有価証券	53,329	47,520
商品及び製品	49,927	127,971
仕掛品	321,734	223,407
繰延税金資産	65,579	59,893
その他	119,930	116,134
貸倒引当金	△2,300	△2,300
流動資産合計	1,899,591	2,125,724
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	278,683	275,917
機械装置及び運搬具(純額)	2,333	1,997
土地	214,495	214,495
その他(純額)	32,497	31,632
有形固定資産合計	528,010	524,042
無形固定資産		
投資その他の資産	26,840	24,512
投資有価証券	701,354	1,032,075
その他	26,649	25,365
投資その他の資産合計	728,003	1,057,440
固定資産合計	1,282,854	1,605,996
資産合計	3,182,445	3,731,721

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	113,222	205,397
短期借入金	110,000	270,000
未払金	112,186	99,556
未払法人税等	45,292	88,161
賞与引当金	122,462	25,194
売上値引引当金	197,366	193,067
その他	66,798	95,816
流動負債合計	767,328	977,194
固定負債		
退職給付に係る負債	21,472	25,416
長期借入金	—	402,555
その他	20,799	18,213
固定負債合計	42,272	446,184
負債合計	809,601	1,423,379
純資産の部		
株主資本		
資本金	524,177	525,682
資本剰余金	514,177	515,682
利益剰余金	1,282,318	1,258,618
自己株式	△16,870	△16,870
株主資本合計	2,303,802	2,283,112
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△63,121	△18,189
為替換算調整勘定	106,402	14,212
その他の包括利益累計額合計	43,281	△3,977
新株予約権	25,760	29,206
純資産合計	2,372,844	2,308,342
負債純資産合計	3,182,445	3,731,721

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	458,515	1,149,342
売上原価	222,623	646,294
売上総利益	235,892	503,047
販売費及び一般管理費	307,083	344,469
営業利益又は営業損失(△)	△71,190	158,578
営業外収益		
受取利息	5,285	11,040
受取配当金	3,213	83
為替差益	8,908	—
補助金収入	—	4,674
その他	569	732
営業外収益合計	17,977	16,530
営業外費用		
支払利息	51	743
為替差損	—	36,832
その他	236	918
営業外費用合計	287	38,494
経常利益又は経常損失(△)	△53,500	136,615
特別利益		
投資有価証券償還益	—	10,907
特別利益合計	—	10,907
特別損失		
投資有価証券評価損	—	74,427
特別損失合計	—	74,427
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△53,500	73,094
法人税等	9,360	81,797
四半期純損失(△)	△62,861	△8,702
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△62,861	△8,702

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純損失(△)	△62,861	△8,702
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,374	44,932
為替換算調整勘定	15,542	△92,190
その他の包括利益合計	10,167	△47,258
四半期包括利益	△52,693	△55,960
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△52,693	△55,960
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パッケージ 事業	オンライン 事業	ライセンス 事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	218,690	198,415	16,687	24,722	458,515	—	458,515
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	218,690	198,415	16,687	24,722	458,515	—	458,515
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	△88,427	82,687	15,130	△991	8,398	(79,588)	△71,190

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額79,588千円は当社管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パッケージ 事業	オンライン 事業	ライセンス 事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	816,159	281,680	20,994	30,507	1,149,342	—	1,149,342
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	816,159	281,680	20,994	30,507	1,149,342	—	1,149,342
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	108,190	120,371	3,110	4,911	236,584	(78,006)	158,578

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額78,006千円は当社管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。